

みんなでまちづくりをすすめよう
第五次総合基本計画



平成23年度～32年度予定の
第五次総合基本計画策定の進行状況をお知らせします。

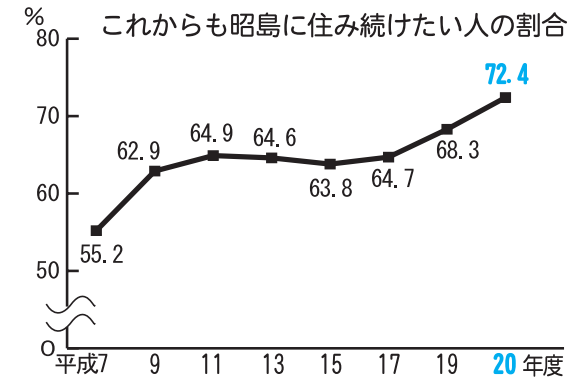
新しい総合基本計画づくりのため
市民意識調査を実施しました

市民の皆さんが市政に何を求めているかを把握し、今後の基本計画づくりの参考とするために、調査を実施しました。

無作為抽出した18歳以上の市民の方1000人に調査票を郵送し、回答していただきました(回収率81.8%)。調査結果の中から、基本構想に関連する重点項目についての状況をお知らせします。

これからも昭島に住み続けたいと思う市民は
72.4%

これからも昭島に住み続けたい人の割合(定住意向)は72.4%でした。これは、平成7年以降の調査結果(左のグラフ)以降、最も高い数値となっています。



市のイメージ・実感は「親しみやすい」「安心」

市民の皆さんが思う昭島市のイメージ・実感について、下の図の結果となりました。

昭島市のイメージ・実感

■は、項目中最も高い割合を示しています。

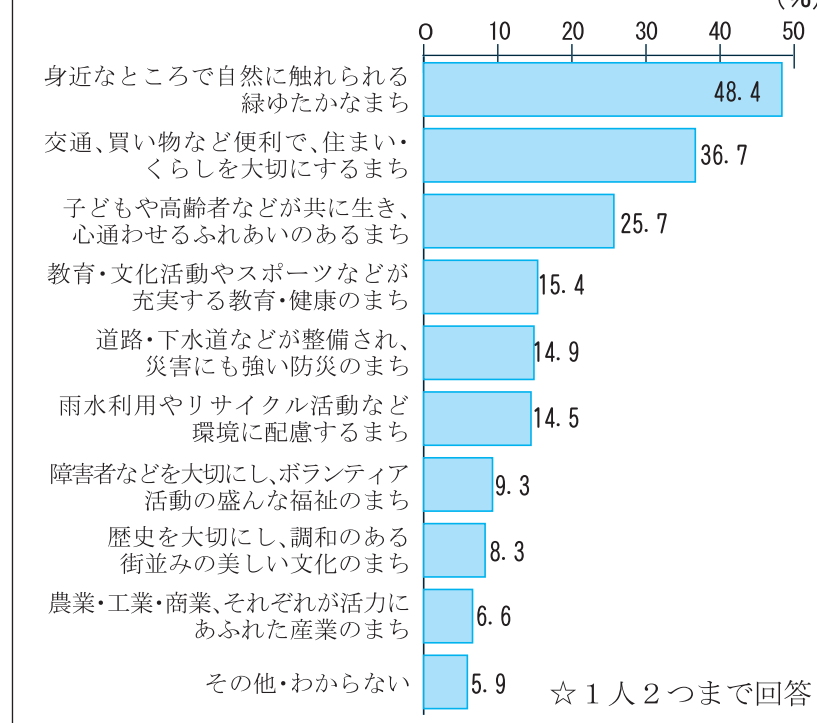
単位:%

| | 都会的 | 新しい | 親しみやすい | 活気がある | 安心 | 魅力的 |
|--------------------|------|------|--------|-------|------|------|
| そう思う | 2.8 | 3.8 | 19.7 | 6.5 | 19.2 | 10.1 |
| どちらかといえば そう思う | 16.9 | 27.1 | 54.8 | 35.0 | 51.7 | 43.9 |
| どちらかといえば そう思わない | 53.8 | 51.3 | 18.6 | 45.2 | 20.8 | 35.1 |
| そうは思わない | 25.9 | 16.6 | 6.2 | 12.3 | 7.1 | 9.9 |

将来のイメージ(都市像)は「身近な自然に触れられる緑豊かなまち」

市民の皆さんが思う昭島市の将来のイメージ(都市像)はどのタイプか2つまで選択していただいたところ、左のグラフの結果となりました。

昭島市の将来イメージ(都市像)

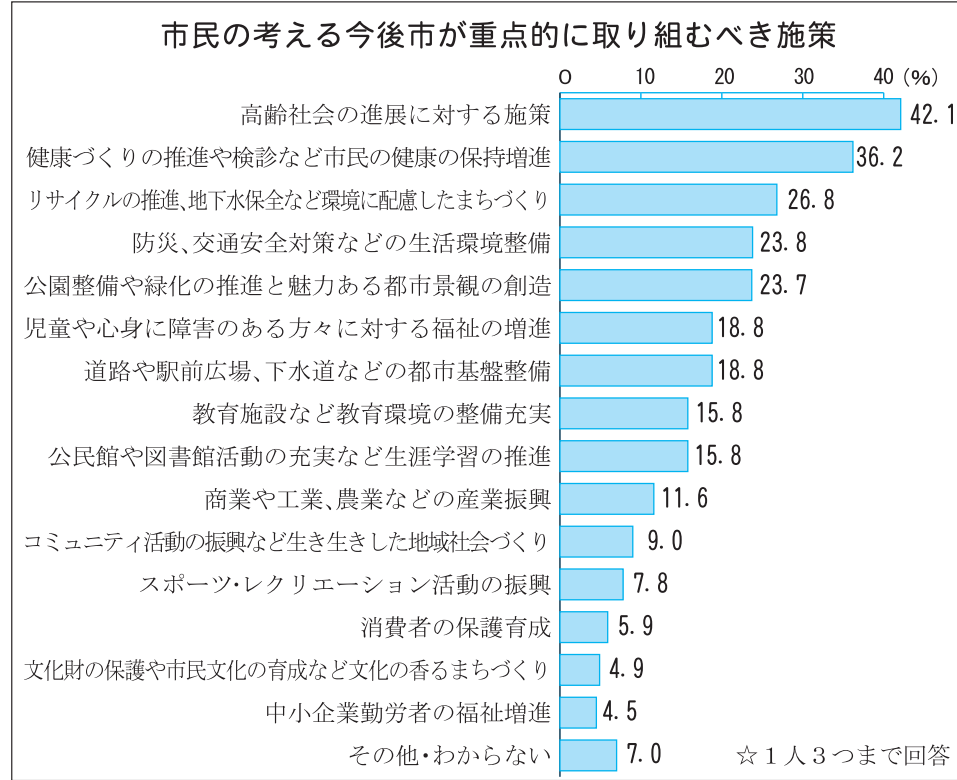


☆1人2つまで回答



力をいれて欲しい施策は「高齢社会の進展」に対する施策

市を住みよくしていくため、今後市はどのような施策を重点にまちづくりを進めるべきか、3つまで選択していただいたところ、



☆1人3つまで回答

左のグラフの結果となりました。その他の調査項目について、まとまりましたら「広報あきしま」や市ホームページでお知らせします。

※詳しくは、総合基本計画担当へ。

中学生が市長に提案
「こんなまちにしたい」

2月に市内中学校6校の生徒会代表と市長が懇談しました。

今回は、第五次総合基本計画づくりのなかの基本構想への反映を目的に、「こんなあきしまにしたい」というテーマで意見を求めました。

主な提案

◎緑(自然)が豊かなまち、きれいなまち

どの学校からも「緑をふやす」という意見が最も多く挙げられました。

まちの美化に関する提案では、公共施設へのごみ箱の設置、中学生がポスターの作成や掲示を行うなどさまざまな意見が出されました。また、公園のトイレの汚れや落書きが目立つので、トイレ内に音楽を流したら気持ちよくなるかなって、汚れや落書きがなくなるのではないかと、といった具体的な提案も出されました。

◎マナーがよい笑顔のまち

マナーがよく笑顔があふれるまちになればみんなが幸せに暮らせるとの意見が出されました。たばこのポイ捨てに対しては、たばこが投げ捨てられやすい場所に花壇を置いたら心が清らくなってポイ捨てが少なくなるのではないかとという意見が出されました。

◎誰もが安心して住める、やさしいまち

高齢者や車いすを利用する方たちをはじめ、誰もが住みやすいまちにするための提案として、道路の歩道やさまざまなところにある段差をなくす(バリアフリー化を進める)、歩道と自動車道路を分けるといった意見が出されました。

また、夜遅く塾の終わる時間帯にAバスを運行して欲しい、街灯を設置して欲しいという意見もありました。

平成21年度は、基本計画の策定への反映を目的に分野別計画のテーマについて、再度中学生から意見を聴く予定です。

